



犀陵だより

第2号 平成25年5月20日

人権週間 5月20日～5月24日

昨年は、いじめにより尊い命が失われる等、全国的に人権について大きな話題となりました。犀陵中学校では、いじめをなくし、どの子にとっても居場所があり、安心して学校生活を送れることを目指し、日常の授業や道徳や休み時間を等あらゆる場面でいじめにつながる言動について対応していきます。

また、この週間を通して、職員と全校生徒が人権同和教育における課題と取り組みについて考え合う良い機会となりました。ご家庭におかれましても、人権に関することを話題にしたり、学校の様子を聞いたりしていただければと思います。宜しくお願い致します。

携帯、スマホ、携帯音楽プレーヤー、パソコン等で使用可能な無料で通話やメールができるアプリによるトラブルが、全国的に発生しています。中には、個人を誹謗中傷するなど人権にかかわる書き込みややりとりがなされているケースもあるそうです。また、出会い系等にも簡単にアクセスできてしまいます。このような情報端末は、学校でも把握が困難で対応に苦慮しているところです。

ご家庭でもご注意いただき、お子さんと話し合う等お願いしたいと思います。もし、心配な点がありましたら、担任にご連絡ください。

<学校での人権週間中の取り組み>

- 1 人権アンケートの実施と人権集会(生徒集会)での結果発表
- 2 人権アンケートを基にした学級の課題解決を目指し、スローガンを決定する。
- 3 身近にある差別や偏見について見返し、考え合う授業
- 4 いじめ撲滅宣言(下記のもの)の清書

いじめ撲滅宣言

私たち犀陵中学校生徒は、本校の目標である「丹精こめて丁寧」の精神に基づき、学校生活の中で一人ひとりの良さを認め合い、学年や男女の枠を越え、みんなの人格・人権を尊重します。

そして、人の心を深く傷つけ、命を奪う「いじめ」は絶対にしません。さらにそれを見抜く鋭い目を持ち、決して見逃すことなくこれを正す勇気を持ちます。さらにみんなの力でいじめの起きない環境を犀陵中学校に創り、一時的なもので終わらせず、未来の犀陵中生に引き継いでいきます。

自分の言葉で決意を記入する



平成 25 年度 生徒会スローガン

継承と新風 ～ さらなる高みを目指して ～

今年度の生徒会のスローガンが決まり、生徒昇降口に大きく掲げられています。これまでの伝統を重んじつつも自分たちの個性を出していこうと前向きなスローガンです。全校生徒が、一人ひとり目標を持って頑張ってもらいたいと思います。

毎週、資源回収やペットボトルのキャップ集めをしています。役員の生徒は、早くから準備をして、どのくらい集まるのか不安げに待っています。「集まりぐあいはどうですか。」と声をかけると「ちょっと少なめです。」と残念そうに伝えてくれました。一人1個の努力で630個です。3個で1,890個です。「協力しよう」というちょっとした心がけが「高み」につながるのではないのでしょうか。

【キラッと光る！犀陵中生】 *4月からの1ヵ月半、素晴らしい生徒の姿の一端を紹介します。

1 素直な心

- (1)「〇年〇組の〇〇ですが、生活ノートを置きに来ました。入ってもよろしいでしょうか。」爽やかな声とともに、礼儀正しく、毎日職員室に入ってくる生徒がほとんどです。部室の鍵の返却、その他用事のあるときの礼儀正しい態度には感心しています。
- (2)廊下で、すれ違う生徒の皆さんは、ほとんどが「おはようございます」「こんにちは」と挨拶を交わすことができます。できるようでできないのが挨拶であり、これから生きていくうえでの欠かせないことのひとつがあいさつです。いつでも挨拶が飛び交う明るい学校であり続けたいですね。

2 きれいに磨かれる校舎

清掃が終わると廊下の床にはゴミがなく、きれいに雑巾がかけられ、床が光っています。清掃態度もよく、黙々と一生懸命活動している姿が多く、とても素晴らしいです。